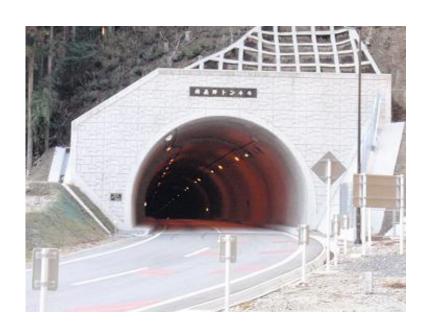
三重県 トンネル長寿命化修繕計画



令和5年3月

三重県 県土整備部

目 次

- 1 背景と目的
- 2 管理トンネルの特色
- 3 トンネルの長寿命化に向けて
- 4 トンネル長寿命化修繕計画の策定方針
- 5 修繕等に関する優先順位
- 6 長寿命化修繕計画による効果
- 7 計画策定部署

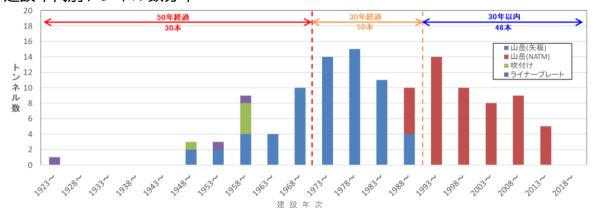
1 背景と目的

【背景】

三重県は、令和4年4月時点において126本のトンネルを管理しており、このうち建設後50年以上経過するトンネルは30本で全体の約24%を占めています。10年後にはこの割合が47%、20年後には63%となり、急速に高齢化が進行していきます。

※石榑トンネル(他県管理)は除く

●建設年代別トンネル数分布



●建設後50年以上のトンネル数



【目的】

トンネルの高齢化によって将来想定される維持管理費の増大に対応するために、三重 県では平成 27 年にトンネル長寿命化修繕計画を策定し、インフラ機能の確実かつ効率 的な確保を進めてきました。今回は、過去の点検結果を踏まえてトンネル長寿命化修繕 計画の見直しを行い、新技術等の活用による生産性向上、維持管理・更新等に係るトー タルコストの縮減・予算の平準化を図り、「持続可能なインフラメンテナンスの実現」 を目指します。

●トンネル長寿命化修繕計画の経緯

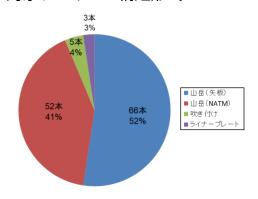
		ט רוי וט			111111							現仕		
年度	~	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	~
トンネル長寿命化												•		—
修繕計画						トンネル	レ長寿命(化修繕計	画策定	۲	ンネル長 	寿命化修	繕計画す ———	新
トンネル				-					-					•
点検	三重	重県独自	トンネル	✓点検 ✓		法令点	 	<u> </u>			 法令点) 负 2巡目 」		

管理トンネルの特色

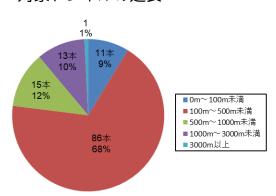
現在三重県が管理するトンネルの特徴は下記の通りです。

- ・構造形式別の特徴は、矢板工法と NATM 工法の 2 工法が全トンネル数の 93%と大半を 占めている。
- ・延長別の特徴は、100m以上 500m未満のトンネルが全トンネル数の 68%(86 本)と大半 を占めている。

対象トンネルの構造形式



対象トンネルの延長

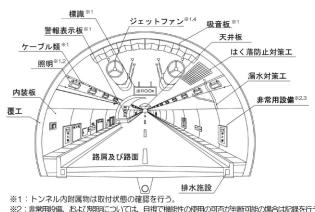


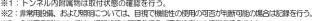
トンネルの長寿命化に向けて

●定期点検の実施

『三重県トンネル点検要領』に準じて定期点検を実施し、トンネルの状態を把握し ます。定期点検は、高所作業車等を用いた近接目視を基本としています。

トンネルの定期点検にあたっては、本体工(覆工、坑門、路肩及び路面、排水施設) に加え、附属物(照明、ケーブル類、非常用設備、換気設備)も点検対象に位置づけ ます。





※3:非常用電話については、通話状態の確認を行う(要発注者との協議を行うこと) ※4:操気設備の機能性についての点検は、施設点検にて確認を行うため、トンネル定期点検では対象外 とし、取り付け状態の確認のみ行う。 別図-1.1 点検対象箇所(トンネル内)

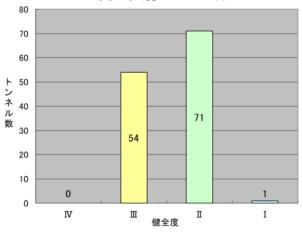


※「道路トンネル定期点検要領 平成31年3月 国土交通省道路局国道・技術課」より一部修正して使用

●管理トンネルの現状

三重県が管理するトンネルの定期点検を実施した結果、早期に措置を講ずべき必要があるトンネルは54本(43%)となりましたが、これらについては既に対策工事に着手しています。

健全性別トンネル数



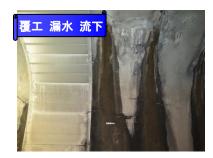
道路トンネル毎の健全性の判定区分

	区分	状態
Ι	健全	道路トンネルの機能に支障が生じてい ない状態。
II	予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じてい ないが、予防保全の観点から措置を講 ずることが望ましい状態。
Ш	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態。

●変状事例



















●対策方針

利用者の安全・安心を確保するために、変状が進行して利用者に影響が及ぶ状態になってから修繕を行う「事後保全」型維持管理から、将来的に利用者に影響が及ぶ可能性がある変状を計画的に対策を行う「予防保全」型維持管理への転換を推進します。

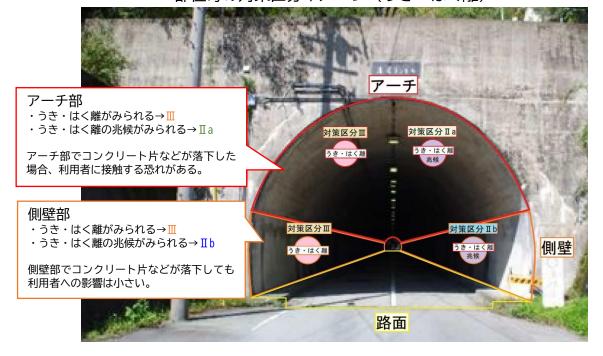
トンネル毎の健全性は、変状の状況や利用者に対する影響等を総合的に判断し、診断を行います。健全性IIと判定されたトンネルは、早期(点検後5年以内)に措置を講じます。

健全性Ⅱと判定されたトンネルは、変状毎に対策区分「Ⅱa」と対策区分「Ⅱb」に分け、特に対策区分「Ⅱa」の変状について、重点的に対策を行います。対策区分は、将来的に利用者に影響を及ぼす程度(第三者影響度)の大きさや変状の進行性など利用者の安全性に着目して判定を行います。

変状毎の対策区分

対策	区分	状態
I		利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。
П	Пb	将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を必要とす る状態。
п	Па	将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、重点的な監視を 行い、予防保全の観点から計画的に対策を必要とする状態。
Ш	[早晩、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に措置を講じる 必要がある状態。
I۷	′	利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要が ある状態。

部位毎の対策区分イメージ(うき・はく離)



4 トンネル長寿命化修繕計画の策定方針

●老朽化対策における基本方針

<本体工>

計画対象とする 126 本のトンネルについて、従来の事後保全的な維持管理から、予防 保全的な維持管理へ転換することにより、修繕等に係るライフサイクルコストの縮減と 予算の平準化を図ります。

●具体的な取組

<本体工>

- ・道路利用者の安全・安心を確保するため、定期点検を継続的に実施するとともに、点検要領に基づく一定の尺度で、施設の健全性を的確に把握します。
- ・計画的な維持管理を行うため、①トンネル点検→②点検結果の蓄積→③劣化曲線の見直し→④修繕計画の策定→⑤対策の実施→⑥補修情報の蓄積という維持管理サイクルにしたがい、トンネルの維持管理を行います。
- ・各事務所間での情報共有、健全性評価に関する技術的知見の向上、劣化予測の精度向 上などのため、維持管理に必要な情報を適切に管理します。

<照明設備>

従来の HID 灯(ナトリウム灯など)に比べて、ランニングコストや維持管理に優れた LED 灯へ更新していきます。

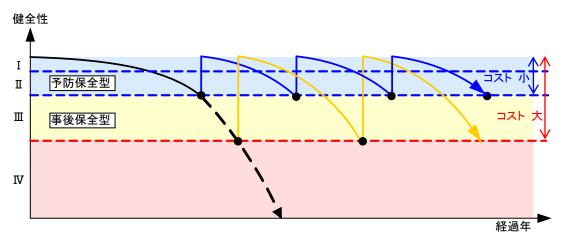
●トンネルの分類

管理水準の設定、劣化予測及び対策方針の選定などに当たり、施設の現状にあった効率的かつ効果的な維持管理を行うため、トンネル毎の類似性に着目して、対象トンネルの分類を行います。

グループ	変状区分	道路利用者被害の危険性
Α	外力による変状	高
В	材質劣化による変状	
С	漏水等による変状	低

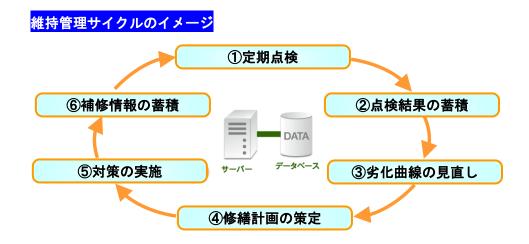
●維持管理水準

ライフサイクルコストの縮減や道路利用者被害を防止する観点から、健全性がⅢ判定となる前に対策を行う予防保全型維持管理への転換を図ります。



●メンテナンスサイクル

- ①5年に1回を基本としてトンネル点検を実施します。
- ②点検結果をデータベースへ蓄積します。
- ③経年変化を踏まえた劣化予測を行い、計画策定のための劣化曲線を見直します。
- ④最新のトンネル点検などのデータに基づき、修繕計画を策定(見直し)します。
- ⑤修繕計画に基づく対策を実施します。
- ⑥対策を実施したトンネルの補修情報等を蓄積します。



●新技術の活用方針

令和 10 年度までに、管理するトンネルのうち、約 20 本の施設において新技術の活用を目指します。

トンネルの維持管理にて現在活用されている新技術は大きく分けて「画像計測技術」、「非破壊検査技術」、「計測・モニタリング技術」の3つがあります。その中でも、トンネル覆工の近接目視を代替・補完する技術として、トンネル内を特殊な車両が画像を撮影しながら走行することで、覆工全延長の展開画像や点群データを取得することができる「走向型画像計測技術」の活用を検討します。





●費用の縮減に関する具体的な方針

今後実施する点検等に新技術を活用することで事業の効率化や安全性の向上を図るとともに、令和10年度までに約1,000万円のコスト縮減を目指します。

5 修繕等に関する優先順位

●優先順位の考え方

修繕の優先順位は、トンネルの健全性や変状区分、路線の重要度等をもとに評価します。

トンネルの健全性・変状区分

健全性	グループ A	グループ B	グループ C
连土江	外力による変状	材質劣化による変状	漏水等による変状
I	_	_	_
П	⑦修繕が必要	⑧修繕が必要	⑨修繕が必要
Ш	④早急に修繕が必要	⑤早急に修繕が必要	⑥早急に修繕が必要
IV	①緊急の修繕が必要	②緊急の修繕が必要	③緊急の修繕が必要

※表中の数字は修繕優先順位を示す。

----:目標管理水準

外 力:トンネルの外部から作用する力であり、緩み土圧、偏土圧、地すべりによる土圧、膨張性土圧、水圧、凍上圧等の総称。

材質劣化:使用材料の品質が時間の経過とともに劣化が進行するものであり、 コンクリートの中性化、アルカリ骨材反応、鋼材の腐食、凍害、塩 害、温度変化、乾燥収縮などの総称。

水:覆工背面地山の地下水が、覆工コンクリートに生じたひび割れ箇所や目地部を通過し、トンネル坑内側に流出などの現象の総称。なお、漏水などによる変状には、冬季におけるつららや側氷が生じる場合も含む。

●優先度評価項目

漏

対策優先順位の評価にあたっては、トンネルの変状区分や健全性、部位、経過年数、路線の重要度等を考慮しています。

●照明設備の優先順位

照明設備の更新及び修繕等の優先順位は、照明灯の種別や定期点検結果を考慮しています。

6 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画に基づく予防保全的な維持管理を実施した場合と、従来の事後保全的な維持管理を実施した場合の費用を比較した結果、将来 30 年間におけるトンネル修繕費用において約3割のコスト縮減効果を確認しています。

将来30年間におけるトンネル修繕費用のコスト縮減効果



7 計画策定部署



三重県 県土整備部 道路管理課

〒 514-8570 三重県津市広明町 13番地 TEL: 059-224-2677

※令和7年3月時点の計画であり予算状況等により変更する場合があります

		完成 延長 一大川 最新 最新 点検計画						N. Indian	1 3/3-0/	WAS DIE	(0))		善計画 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<i>x</i> ,					
トンネル名	トンネル名(フリガナ)	路線名	年度 (西暦)	延長 (m)	所在地	点検	点検 結果								計画年度			対策内容	概算事業費
鞍掛トンネル	クラカケトンネル	国道306号	1974	757.0	いなべ市	R5	I	R6	R7	R8	R9	R10	R6	R7	R8	R9	R10	-	(百万円)
石槫トンネル	イシグ レトンネル	国道421号	2010	4157.0	-	-	-						-	-	-	-	-	-	-
蒼滝トンネル	アオタキトンネル プ ^ イトンネル	国道477号	1972	136.0	菰野町	R5	Ⅲ					00		0				本体・附属物補修工	32
武平トンネル 金場トンネル	カナバートンネル	国道477号 国道25号	1971 1956	163. 0 64. 0	菰野町 亀山市	R6	П	0				0						-	-
白山トンネル	ハクサントンネル	国道165号	1972	260.0	津市	R5	II					O		0				本体補修工	5
飼坂トンネル 一志白山トンネル	カイサカトンネル	国道368号 県道久居美杉線	1989 2005	700. 0 479. 0	津市津市	R5 R5	П					0	0	0				本体・附属物補修工 -	110
須渕トンネル	スプ [*] チトンネル	県道久居美杉線	2005	226.0	津市	R5	П					0						-	-
鎌倉トンネル 宝並トンネル	カマクラトンネル	県道久居美杉線 県道津芸濃大山田線	2003 1980	663. 0 243. 0	津市	R5 R5	II					0						-	-
大谷トンネル	オオタニトンネル	県道津芸濃大山田線	1982	143.0	津市	R5	Ш					0		0				本体補修工	2
笹子トンネル 矢頭トンネル	ササコトンネル ヤス*トンネル	県道津芸濃大山田線 県道一志美杉線	1980 2014	118.0 1637.0	津市	R5 R5	П					0						-	-
高見トンネル	タカミトンネル	国道166号	1983	2470.0	松阪市	R5	ш					Ö	0	0	0			本体・附属物補修工	200
木梶トンネル	キカシ トンネル	国道166号	1977	121.0	松阪市	R5	Ш					0	0	0				本体補修工	2
落方トンネル 桑原トンネル	オチカタトンネル クワハラトンネル	国道166号	1976 1973	188. 0 136. 0	松阪市 松阪市	R5 R5	II					0						-	-
田引トンネル	タピ" キトンネル	国道166号	1993	650.0	松阪市	R5	II					0	0	0	0			本体・附属物補修工	121
湯谷トンネル 新八知山トンネル	ユタニトンネル シンヤチヤマトンネル	国道422号 国道422号	1980 2016	250. 0 317. 0	大台町 大台町	R5 R5	П					0	0	0				本体補修工	2
宮川トンネル	ミヤカ ワトンネル	県道大台宮川線	2004	202.0	大台町	R5	I					0						-	-
第2トンネル 瀬戸の堀トンネル	ダ* 12トンネル セトノホリトンネル	県道大台ヶ原線 県道大台ヶ原線	1955 1926	68. 0 169. 0	大台町 大台町	R5 R5	II II					0						-	-
新女鬼トンネル	シンメキトンネル	県道松阪度会線	1996	241.0	多気町	R5	I					0						-	-
注堂トンネル 津本トンネル	ツシ゚ト゚ウトンネル ツモトトンネル	県道蓮峡線 県道蓮峡線	1988 1988	223. 0 93. 0	松阪市 松阪市	R5 R5	П					0	0	00				本体・附属物補修工	65 2
水香トンネル	シエトンチル ミス゜ノミトンネル	宗坦連 以 稼 県道大杉谷海山線	1974	284. 0	大台町	R5	Ш					0	0	0				本体補修工本体補修工	対策完了
池の浦トンネル	イケノウラトンネル	国道42号	1993	374.0	伊勢市	R5	I					0	0	0	0			本体補修工	25
松下トンネル 二見ヶ浦トンネル	マグシタトンネル フタミガ ウラトンネル	国道42号 国道42号	1993 1991	389. 0 386. 0	伊勢市 伊勢市	R5 R5	П					0	0	00	00			本体補修工 本体補修工	25 25
新二見トンネル	シンフタミトンネル	国道42号	1970	213.0	伊勢市	R6	Ш	0				Ĭ	Ĭ	Ý	0	0		本体補修工	未定
新二見トンネル 田曽浦トンネル	シンフタミトンネル タソウラトンネル	国道42号 国道260号	1950 1986	130. 0 80. 0	伊勢市 南伊勢町	R6 R5	П	0		-		0	$\vdash \vdash \vdash$				-	-	-
神原トンネル	カンパ・ラトンネル	国道260号	2002	284.0	南伊勢町	R5	П					0						-	-
宿浦第2トンネル	シュクウラタ" イ2トンネル シュクウラタ" イ3トンネル	国道260号	1998	395.0	南伊勢町	R6	I	0					\square			_		-	-
宿浦第3トンネル 宿浦第1トンネル	919959" 11F2AN	国道260号 国道260号	2000	231. 0 284. 0	南伊勢町南伊勢町	R5 R5	П	\vdash				0	0	0				- 本体補修工	13
船越トンネル	フナコシトンネル	国道260号	1972	155.0	南伊勢町	R6	Ш	0						-	0	0		本体補修工	未定
迫間トンネル 相賀浦トンネル	ハザ マトンネル オオカウラトンネル	国道260号 国道260号	1975 1988	242. 0 598. 0	南伊勢町	R5 R6	П	0				0	\vdash					-	-
道方トンネル	ミチカタトンネル	国道260号	1977	182.0	南伊勢町	R5	I	Ĭ				0						-	-
東宮トンネル 東宮坂トンネル	トウク゛ウトンネル トウク゛ウサカトンネル	国道260号 国道260号	1973 1961	120. 0 106. 0	南伊勢町	R5 R5	I					0	0	0				- 本体補修工	13
中坂トンネル	ナカサカトンネル	国道260号	1966	164.0	南伊勢町	R5	I					0		Ŭ				4-P-1899-I	-
河内トンネル 南島トンネル	コウチトンネル ナントウトンネル	国道260号 国道260号	1965 1972	213. 0 572. 0	南伊勢町	R5 R5	П					0	0	0				- 本体補修工	- 13
小方トンネル	オカッタトンネル	国道260号	1978			R5	II					ő	- 0	0	0			本体補修工	23
栃木トンネル	トチノキトンネル	国道260号	1980		南伊勢町	R5	I					0							-
古和浦トンネル 棚橋トンネル	3ワウラトンネル タナハシトンネル	国道260号 国道260号	1988 1985	671.0 337.0	南伊勢町	R5 R5	Ш					0	0	0				本体補修工 本体補修工	13 対策完了
紀勢南島トンネル	キセイナントウトンネル	国道260号	2001	1551.0	大紀町	R5	I					0						-	-
錦トンネル 名古第1トンネル	ニシキトンネル ナコタ* イ1トンネル	国道260号 国道260号	2003 1975	154. 0 64. 0	大紀町 大紀町	R5 R5	П					0						- 本体補修工	対策完了
名古第2トンネル	ナコダ イ2トンネル	国道260号	1976	189.0	大紀町	R5	Ш					0		0	0			本体補修工	13
二色トンネル 慥柄浦トンネル	ニシキトンネル タシカラウラトンネル	国道260号 国道260号	1975 2009	445. 0 199. 0	大紀町 南伊勢町	R5 R6	П	0				0						-	-
木谷トンネル	キタニトンネル	国道260号	2015	433.0	南伊勢町	R5	I					0						-	-
新野見坂トンネル	シンノミサ*カトンネル ノミサ*カミナミトンネル	県道伊勢南島線 県 送伊勢市島線	2001 1997	1538. 0 442. 0	度会町 南伊勢町	R6 R6	П	00							0	0		本体補修工	未定
野見坂南トンネル 五十鈴トンネル	ノミリ ルミナミトンチル イスス* トンネル	県道伊勢南島線 県道伊勢磯部線	1965		用伊勢可 伊勢市	R5	П	0				0						-	-
志摩路トンネル	シマジ・トンネル	県道伊勢磯部線	1965	455.0	伊勢市	R6	I	0										-	-
錦望トンネル 岩坂東トンネル	キンボ゛ウトンネル イワサカヒカ゛シトンネル	県道紀勢インター線 県道玉城南勢線	1995 1985	183. 0 431. 0	大紀町 玉城町	R5 R6	Ш	0				0			0	0		本体補修工	未定
鍛冶屋トンネル	カシ"ヤトンネル	県道玉城南勢線	1984	489.0	伊勢市	R5	I					0			Ť	Ť		-	-
稲石トンネル 五ヶ所トンネル	イナイシトンネル コ* カシヨトンネル	県道玉城南勢線 県道玉城南勢線	1979 1981	440. 0 906. 0		R6 R6	Ш	0										本体補修工本体補修工	対策完了 対策完了
龍仙トンネル	リユウセントンネル	県道玉城南勢線	1978	296.0	南伊勢町	R6	Ш	Ö							0	0		本体補修工	未定
磯部トンネル 黒崎トンネル	イソハ* トンネル クロサキトンネル	国道167号 国道260号	1995 1983	413. 0 160. 0	志摩市 志摩市	R5 R5	П				00							-	-
磯笛トンネル	197*IF>#W	国道260号	1987	427. 0	志摩市	R5	I				0							-	-
南張トンネル	ナンバ リトンネル シラキトンネル	国道260号	1997	412.0	志摩市	R5	Ī				00			0	0			本体補修工	50
白木トンネル 鳥羽河内トンネル	シノキドンネル トハ* コウチトンネル	国道167号 国道167号	2012	822. 0 3260. 0	鳥羽市	R5 R5	П				00			0	0	0	0	本体・附属物補修工	200
堅神トンネル	カタカミトンネル	国道167号	2012	334.0	鳥羽市	R5	I				0							-	-
朝熊トンネル 新長野トンネル	アサマトンネル シンナが ノトンネル	国道167号 国道163号	2011	481. 0 1966. 0	伊勢市 伊賀市	R5 R6	II II	0				0						-	-
中山トンネル	ナカヤマトンネル	国道165号	1982	165.0	伊賀市	R6	Ш	0							0	0		本体補修工	未定
青山トンネル 下比奈知トンネル	アオヤマトンネル シモヒナチトンネル	国道165号 国道368号	1971		伊賀市 名張市	R6 R6	II	0				\vdash	\vdash					-	-
上比奈知トンネル	カミヒナチトンネル	国道368号	1990	358.0	名張市	R6	I	0										-	-
三田坂トンネル 香落渓トンネル	ミタサカトンネル コウチタ゛ニトンネル	国道422号 県道名張曽爾線	2012 1968	1528. 0 109. 0	伊賀市 名張市	R5 R6	П	0				0	$\vdash \vdash \vdash$	0			-	本体補修工	1 -
北野トンネル	キタノトンネル	主要地方道青山美杉線	2012	257. 0	伊賀市	R6	I	0										-	
孫太郎トンネル	マコ・タロウトンネル	国道260号	1986	540.0		R6	Ш	00					$\vdash \exists$	00	00			本体補修工	2
八鬼山トンネル 早田トンネル	ヤキヤマトンネル ハイタ* トンネル	国道311号 国道311号	1992 2000	2365. 0 254. 0		R6 R6	П	0						0	0			本体補修工 本体補修工	2
三木浦トンネル	ミキウラトンネル	国道311号	2001	769.0	尾鷲市	R6	Ш	0						0	0			本体補修工	2
曽根トンネル 梶賀トンネル	ソネトンネル カシ"カトンネル	国道311号 国道311号	1997 2000	1106. 0 1370. 0	尾鷲市 尾鷲市	R6 R6	П	0					\vdash	0	00			本体補修工 本体補修工	2
須野トンネル	スノトンネル	国道311号	1981	198.0	尾鷲市	R6	П	0						0	0			本体補修工	2
坂場トンネル 坂下トンネル	サカバ トンネル サカシタトンネル	国道425号 国道425号	1958 1958	73. 0 334. 0		R6 R6	П	0		-		\vdash	$\vdash \vdash \vdash$	0	0		-	本体補修工 本体補修工	2
長尾トンネル	ナカ* オトンネル	国道425号	1959	83.0	尾鷲市	R6	П	0						0	0			本体補修工	2
八幡トンネル 須賀利トンネル	ハチマントンネル スカ゜リトンネル	国道425号 県道須賀利港相賀停車場線	1958 1979	469. 0 355. 0	尾鷲市 紀北町	R6	П	00						00	00			本体補修工 本体補修工	2
須貝利トノイル 第2島勝トンネル	ダ イ2シマカツトンネル	県道須賀利港相賀停車場線	2001	345.0	紀北町	R6 R6	Ш	0						0	0			本体補修工	2
島勝トンネル	シマカツトンネル ドキモトトンネル	県道須賀利港相賀停車場線	1994	293.0	紀北町	R6	Ш	0						0	0	-		本体補修工	2
引本トンネル 海野トンネル	たキモトトンネル カイノトンネル	県道須賀利港相賀停車場線 県道長島港古里線	1987 2004		紀北町	R6 R6	Ш	0						00	00			本体補修工 本体補修工	2
矢口トンネル	ヤク* チトンネル	県道矢口浦上里線	1997	270.0	紀北町	R6	Ш	0						0	0			本体補修工	2
魚飛トンネル 古瀬川トンネル	ウオトヒ* トンネル コセコ* トンネル	県道南浦海山線 県道多田ヶ瀬山居線	1960 1978	49. 0 130. 0	紀北町	R6 R6	П	0					\vdash	00	00			本体補修工 本体補修工	2
浅間トンネル	アサマトンネル	県道多田ヶ瀬山居線	1979	120.0	紀北町	R6	Ш	0						0	0			本体補修工	2
高尾谷トンネル 桃崎トンネル	タカオタニトンネル モモザ [*] キトンネル	国道169号 国道169号	2004 1960		熊野市 熊野市	R4 R4	П	1		-	0	\vdash	$\vdash \vdash \vdash$					-	-
大井谷トンネル	オオイタニトンネル	国道169号	1962	315.0	熊野市	R4	I				0							-	-
荒坂トンネル	アラサカトンネル ニキシマトンネル	国道311号	1956	85.0	熊野市	R4	Ш				0		0	0		-		本体補修工	3
二木島トンネル 波田須トンネル		国道311号 国道311号	1952 1952	425. 0 121. 0	熊野市 熊野市	R4 R4	Ш	\vdash			0	\vdash	0	0				本体補修工	3
釜谷トンネル	カマタニトンネル	国道311号	1994	216.0	御浜町	R4	I				0							-	-
新田トンネル 金山トンネル	シンデ ントンネル カナヤマトンネル	国道311号 国道311号	1995 1986	413.0 99.0	御浜町熊野市	R4 R4	I	1			00		0	0	0		1	- 本体補修工	20
新明神滝トンネル	シンミヨウシ ンタキトンネル	国道311号	1993	440.0	御浜町	R4	I				0			,				-	-
風伝トンネル 板屋トンネル	フウテントンネル イタヤトンネル	国道311号 国道311号	1990 1981		熊野市 熊野市	R4 R4	П	\vdash			00	\vdash	\vdash					-	-
所山トンネル	トコロヤマトンネル	国道311号	1977	143.0	熊野市	R4	Ш				0		0	0	0			本体補修工	20
小川口トンネル	オカ゚ワク゚チトンネル	国道311号	1974	207. 0	熊野市	R4	I				0		oxdot					-	-

			完成			最新	最新	点検計画											
トンネル名	トンネル名(フリガナ)	路線名	完成 年度 (西暦)	延長 (m)	所在地	点検	点検					計画年度			対策内容	概算事業費			
			(西暦)	(III)		年度	結果	R6	R7	R8	R9	R10	R6	R7	R8	R9	R10	对來內台	(百万円)
磯崎トンネル	イソサ*キトンネル	国道311号	2009	175.0	熊野市	R4	Π				0							-	-
新大峪トンネル	シンオオサコトンネル	県道七色峡線	1983	1593.0	熊野市	R4	Ш				0		0	0	0	0		本体・附属物補修工	190
新相野谷トンネル	シンオノタ゛ニトンネル	県道紀宝川瀬線	2010	258.0	紀宝町	R4	II				0							-	-
札立トンネル	フタ* タテトンネル	県道御浜北山線	1970	198.0	熊野市	R4	Ħ				0		0	0				本体補修工	3
大里トンネル	オオサトトンネル	県道鵜殿熊野線	1974	1031.0	紀宝町	R4	II				0							-	-
有井トンネル	アリイトンネル	県道鵜殿熊野線	1972	691.0	熊野市	R4	Ш				0		0	0				本体・附属物補修工	118
八丁坂トンネル	ハツチヨウサカトンネル	県道新鹿佐渡線	1999	1055.0	熊野市	R4	Ħ				0		0	0	0	0		本体・附属物補修工	150
遊木トンネル	ユキトンネル	国道311号	2012	717.0	熊野市	R4	II				0							-	-
新土場トンネル	ユキトンネル	国道169号	2018	405.0	熊野市	R4	II				0							-	-
贄浦トンネル		国道260号	2016	104.0	南伊勢町	R5	П					0						-	-